



## ねこのオーランドー たのしい日々

キャスリーン・ヘイル さく こみや ゆう やく好學社 E-ハ

ねこのオーランドーとおくさんのグレイスは、勉強のためにこねこたちを学校へいかせることにしました。ところが、こねこたちは、あらゆる手を使ってずる休みをしようとしません。そこで、オーランドーとグレイスはそれぞれに習い事をさせることにしました。ある日、オーランドーはグレイスがしくしくないているのを見かけます。

## 長ぐつをはいたねこ

シャルル・ペロー 原作 ハンス・フィッシャー ぶん・え やがわ すみこ やく  
福音館書店 E-フ

粉屋にはむすこが3にいました。もちものは風車小屋に、ロバ1とう、おすネコ1ぴきでした。3にんのむすこたちは、いさんをわけることになり、末っ子にはのこったネコしかいませんでした。末っ子はすっかりしょげてしまいましたが、このネコはただのネコとは大ちがいで、ひとはなしがなんでもわかるのです。ネコは、ひもで口をしめられるふくろをひとつと、長ぐつを1そくあつらえてほしいといいました。

## 白猫



エロール・ル・カイン 再話・絵 中川 千尋 訳 ほるぷ出版 E-ル

むかし、ある国の王さまが、三人の王子たちに「この世でいちばんかしこい犬をつれてきたものを、つぎの王にする」といいました。上の王子は町へいき、つぎの王子は船でとおくの国にでかけました。末の王子は、まほうの森へいきました。ふしくれだった老木の顔が王子をみつめると森がひらけ、猫のかたちをした城があらわれたのです。

## 🐾 ウィリアムの子ねこ 🐾 🐾

🐾 マージョリー・フラック 作・絵 まさき るりこ 訳 徳間書店 933-フ

むかし、しまもようのちい小さなねこが、プレゼントビルというまち町でまいごになっていました。子ねこは「ミュー、ミュー」となきましたきが、気がついたのは四さいのウィリアムだけでした。おひるごはんによいばれたウィリアムが家いえにかけこむと、子ねこもかけこんでできます。そして、食たべものはなのにおいに、鼻をぴくぴくさせました。

## こいぬとこねこのおかしな話



ヨゼフ・チャパック 作 木村 有子 訳 岩波書店 989-チ

むかし、森のもり近くちかのちい小さな一軒家いっけんやに、こいぬとこねこがくららしていました。冬ふゆのある日ひ、こいぬとこねこは手紙てがみをもらったニブルクおんなの女この子たちこにへんじを出だすことにします。こいぬが書かくことを話はなし、こねこが字じを書かきました。手紙てがみが書かけると、雪ゆきがふっていました。こいぬとこねこは郵便局ゆうびんきょくへむかいました。

(『ニブルクの女の子たちに手紙を書いた話』)

## 🐾 ルドルフとスノーホワイト 🐾

齊藤 洋 作 講談社 913-サ

黒くろねこのルドルフは、字じが書かけるねこです。子ねこのころは岐阜ぎふの町まちに住すんでいましたが、いまは東京とうきょうに住すんでいます。友ともだちのブッチーさんが三さんびきの子ねこの父ちち親おやになりました。神社じんじやでブッチーからおもしろいことがなかったかと聞きかれたルドルフは、近ちかくのごみ置おき場ばで『ポケット版ばんことわざ辞典じてん』を見みつけたことを話はなします。

## 🐾 魔法のカクテル 🐾 🐾

ミヒヤエル・エンデ 作 川西 芙沙 訳 岩波書店 943-エ

大晦日おおみそかの夜よる、魔術師まじゅつしのイルヴィツァーは、地獄じごくの執しつ行こう吏りから契けい約やくした悪事あくじのノルマが果たされていないと警けい告こくをうけます。こまったイルヴィツァーは屋敷やしきを歩あるきつづけ、牡猫おすねこのマウリツィオの部へ屋やにやってきました。マウリツィオは、動物どうぶつ最さい高こう評ひょう議ぎ会かいの秘ひ密みつの任にん務むでやってきたスパイ猫ねこでした。